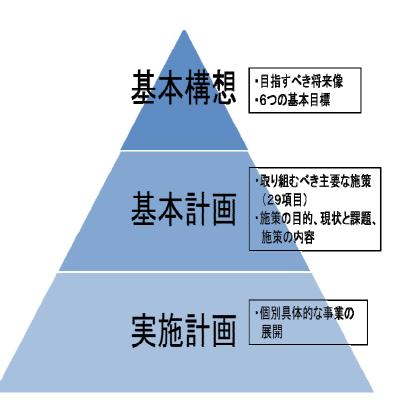
平成26年3月31日現在

1. 第5次善通寺市総合計画の構成

第5次善通寺市総合計画は、本市の最上位計画として、平成23年度からの10年間のまちづくりの方向性を示すもので、「基本構想」において「住んでみたい・住みつづけたい まち 善通寺」を目指すべき将来像と定め、6つの基本目標を掲げています。

この6つの基本目標に基づき、今後取り組むべき主要な施策(基本施策)を各分野にわたって定めたのが、平成27年度までの5年間を計画期間とする「基本計画」(前期)です。

「基本計画」では、29項目の基本施策ごとに、施策の目的・現状と課題・施策の内容などを取りまとめ、「実施計画」の中で個別具体的な事業を展開しながら、目指すべき将来像の実現を図ります。



2. 進行管理の目的と成果指標

第5次善通寺市総合計画では、10年間という長期間にわたるまちづくりの方向性を示しておりますが、社会経済情勢の急激な変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて計画の見直しを図るためには、総合計画の進捗状況や到達点を定期的に点検評価する必要があります。また、市民との参画と協働を推進する中で、透明性のある行政運営を図るため、市民にわかりやすく成果の見えやすい総合計画の推進を図る必要もあります。

そこで、「基本計画」の中の29項目の基本施策において、目指すべき118件の「成果指標と目標値」を設定し、総合計画の進行管理を行うこととしています。

3. 平成25年度における成果指標の達成状況

平成25年度末において、118件の成果指標のうち、業務上のデータから79件の実績値を取得し、目標達成に向けての進捗状況の確認を 行いました。

その結果、34件の成果指標において、中間目標(平成27年度)とする数値を達成しています。

- ○審議会などにおける女性委員の比率(18.9% ⇒ 22.6%)
- ○実質公債比率(15.9% ⇒ 10.1%)
- ○市税徴収率(93.62% ⇒ 94.00%)
- ○職員数(287人 ⇒ 264人)
- ○延長保育実施保育所数(7箇所 ⇒ 7箇所)
- ○子育て支援体制の状況(25.0% ⇒ 56.8%)
- ○保健事業への参加者数(20,094人 ⇒ 24,203人)
- ○訓練等給付(就労支援など)の支給決定者数(27件 ⇒ 61件)
- ○相談支援事業所(身体・知的)の利用件数(2,847件 ⇒ 3,816件)
- ○相談支援事業所(精神)の利用件数(570件 ⇒ 656件)
- ○国民健康保険税□座振替率(45.9% ⇒ 48.0%)
- 〇ボランティア登録団体数(31団体 ⇒ 33団体)
- ○児童生徒の長期欠席率(小学校)(O.9% ⇒ O.4%)
- ○児童生徒の長期欠席率(中学校)(6.9% ⇒ 4.6%)
- ○図書館利用者数(101,089人 ⇒ 124,926人)
- ○図書の市民一人当たり貸し出し冊数(3.8冊 ⇒ 4.4冊)
- ○体育施設利用者数(231,091人 ⇒ 261,139人)
- ○社会体育事業参加者数(4, 197人 ⇒ 4, 406人)
- ○初心者スポーツ教室参加者数(89人 ⇒ 100人)
- ○青少年補導件数(58件 ⇒ 31件)
- ○交流事業参加者数(126人 ⇒ 583人)
- ○集落営農組織(特定農業団体)数(7組織 ⇒ 11組織)

- 【1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成】
- 【1-3 自律する自治体経営の推進】
- 【1-3 自律する自治体経営の推進】
- 【1-3 自律する自治体経営の推進】
- 【2-1 子育て支援の充実】
- 【2-1 子育て支援の充実】
- 【2-2 保健・医療の充実】
- 【2-4 障がい者福祉の充実】
- 【2-4 障がい者福祉の充実】
- 【2-4 障がい者福祉の充実】
- 【2-5 社会保障の充実】
- 【2-6 地域福祉の充実】
- 【3-1 学校教育の充実】
- 【3-1 学校教育の充実】
- 【3-2 生涯学習社会の確立】
- 【3-2 生涯学習社会の確立】
- 【3-3 生涯スポーツの振興】
- 【3-3 生涯スポーツの振興】
- 【3-3 生涯スポーツの振興】
- 【3-4 青少年の健全育成】
- 【3-6 交流活動の推進】
- 【4-1 農林業の振興】

○新規就農者数(4人 ⇒ 6人)

○主要観光施設入場者数(1,236,143人 ⇒ 1,352,155人) 【4-3 観光の振興】

○観光イベント参加者数(106,000人 ⇒ 112,000人)

○観光ボランティアガイド登録者数(0人 ⇒ 39人)

○観光交流センター利用者数(一人 ⇒ 7,468人)

〇レンタサイクル利用台数(1,278台 ⇒ 1,330台)

○市民1人当たり公園面積(5.76㎡ ⇒ 6.15㎡)

○公園利用者数(53,502人 ⇒ 134,724人)

○市道改良率(58.2% ⇒ 59.1%)

○刑法犯認知件数(424件 ⇒ 355件)

○身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加している人(8.9% 11.3%)【6-3 交通安全・防犯体制の充実】

○市職員に対する情報セキュリティ研修回数(0回 ⇒ 1回)

【4-1 農林業の振興】

【4-3 観光の振興】

【4-3 観光の振興】

【4-3 観光の振興】

【4-3 観光の振興】

【5-4 公園・緑地・水辺の整備】

【5-4 公園・緑地・水辺の整備】

【6-1 道路·交通ネットワークの整備】

【6-3 交通安全・防犯体制の充実】

【6-5 情報ネットワークの整備】

総合計画の体系			関係課	総務課	
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1-1 市民主体のまちづくりの推進	施策の主管課	政策課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 市民との情報共有の推進	ホームページをリニューアルし、ページ構成の改善した。また、各課で掲載情報の見直し拡充をはかり、市民の皆様が欲しい情報を、より探しやすくできるよう、改善を図った。平成25年4月から平成26年3月までの月平均閲覧件数は、約22,000件となっている。 また、市内各地区公民館において、市長及び市幹部職員による市政懇談会を開催するとともに、市長への提言箱を市内11箇所に設置しており、広聴活動とあわせて、市民との情報共有の拡大に努めている。	② 市民参画の手続きの適正運用	自治基本条例及び同条例施行規則に従い、市民参画の実施に努めた。 平成25年度には、市の計画の策定や条例等の制定、改廃の際にパブリックコメントを5件実施した。 また、広報ぜんつうじ6月号にて、平成26年度の予算編成に関する意見を募集したところ、11件の意見をいただき、各担当部課において予算対応についての検討を行った。
③ コミュニティ活動の推進	地域の各種団体が自ら主体的に創意工夫し、実施する地域づくりや自主的な活動を促進し、市民の意思が活かされた独自性と魅力のある地域社会の創造を図ることを目的として「地域提案型事業」を実施した。 平成25年度には、地域の各種団体から事業の提案をいただき、26事業を実施した。	④ コミュニティ施設の充実	地域提案型事業において、地区公民館や小学校等の教育関連施設を利用し、 防災訓練やコミュニティ推進等の各種事業が実施され、既存施設の有効活用が図 られた。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市ホームページ閲覧件数(月平均)	件	15,000	17,800	25,000	30,000
市の広報・広聴活動の状況についての満足度	%	30.5	_		
コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況	%	23.7	_		

具体的な事業・取組み

① 情報公開制度の適正運用

- ② 市政に関する情報提供の充実
- ③ パブリックコメント・ワークショップの積極的な実施 ④ コミュニティ活動の推進

⑤ コミュニティ施設の充実

⑥ 地域提案型事業

総合計画の体系			関係課	生涯学習課・教育総務課・隣保館・高橋会館	
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成	施策の主管課	人権課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
	平成25年3月に善通寺市男女共同参画プラン策定し、男女共同参画社会の実現に向け、市民や関係機関・団体にプランの周知及び男女共同参画に関する啓発を実施した。また、プランに示した基本目標や重点プラン等施策体系ごとに、各課の事業実績、計画を集約し、進行管理にも務めている。	② 人権教育・啓発の推進	市民一人ひとりが人権について正しく理解し、お互いに尊重し合うことにより、差別や偏見のない社会の実現に向け、人権政策審議会で市の人権啓発の方針や基本的方向性を定めた「善通寺市人権教育・啓発の基本指針」に基づき、家庭・地域、職場・学校などのあらゆる場に応じた人権施策を実施している。その他、人権教育として人権擁護委員による人権出前教室、企業向けの人権出前講座の開催、また、同和問題の早期解決のために広報での周知等、人権教育、啓発を効果的かつ継続的に推進した。
③ 人権問題に関する相談体制の充実	あらゆる人権に対する理解と認識の徹底を図るために、広報や人権啓発活動を実施することにより、幅広く市民に人権の大切さを周知するとともに、悩みや心配ごとの早期解決するために、相談内容に応じて、相談窓口を周知した。また、法務局から委嘱された8名の人権擁護委員による人権相談を毎月実施している。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
審議会などにおける女性委員の比率	%	18.9	22.6		
市の男女共同参画の状況についての満足度	%	16.0	_		
人権講演会や研修会の開催回数	0	2	3	10	12
人権啓発事業の実施回数	回	7	7	10	12
市の人権尊重の状況についての満足度	%	17.4	_		\mathcal{D}

	具体的な事業・取組み							
1	人権啓発推進事業	2	人権·同和教育指導事業					
3	男女共同参画プラン策定事業	4	人権問題に関する相談体制の充実					

総合計画の体系				関係課	秘書課・税務課
基本目標	1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり	基本施策	1-3 自律する自治体経営の推進	施策の主管課	政策課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 定員の適正化	これまでの行政改革の取り組みにより、正規職員数は減少し、平成25年4月1日 現在の職員数は264人である。しかしながら今後の善通寺市の行政運営を考える と、正規職員の定数は300人が適切であると考え、今後定員適正化計画の見直し を行うこととした。 また、正規職員の減少にあわせて非正規職員が増加しているため、正規職員の 増員を図る一方、業務の見直しやアウトソーシングすることによって非正規職員の 削減を図る。	② アウトソーシングの推進	効果的、効率的な行政運営のため、公の施設の運営管理について指定管理者 制度を活用する等、アウトソーシングを推進した。
③ 組織機構の見直し	行政サービスの向上と行政運営の効率化のため、「小さな市役所」の実現を目指し、機構改革を実施した。平成25年度においては、市民部と健康福祉部の統合をはじめとした機構改革を実施し、6部37課(室等を含む)から5部33課(室等を含む)となった。	④ 人事管理などの見直し	職員個々の実務能力の向上等を目的として外部研修機関による能力開発研修等を最大限活用するとともに、全庁的な意識啓発が必要とされる課題については、独自研修を実施することで対応した。また、可能な限り、個人の適正や能力を考慮した人員配置に努めた。 〇能力開発研修等:市町村アカデミー、国際文化アカデミー、市町職員研修センター、早稲田大学人材マネジメント部会等 〇独自研修:勤務評定者研修、労働安全衛生研修、若手職員研修会等
⑤ 自主財源の確保	地方税ポータルシステム(eLTAX)、新たに構築した固定資産評価システム(GIS)を活用し、適正かつ迅速な課税処理を行っているほか、無申告者や過少申告者等に対しては、国・県・市の三税協力による課税資料等の情報収集を行い、公平な課税に努めている。滞納者に対しては、文書・電話催告等により自主納付を促すとともに、悪質な場合には、債権・財産の差押を行う等の滞納処分を行っており、平成25年度の市税の徴収率は前年度の93.64%を上回る94.00%となった。	⑥ 財政計画の策定	平成23年度から平成27年度までの5か年計画を策定している。
⑦ 枠配分予算の導入	各部署単位での経営感覚やコスト意識の醸成を図り、包括的なコスト削減につな げることを目的として、各部に予算を枠配分し、その枠内で各部が自己決定、自己 責任のもとに事業運営を行う枠配分予算制度の導入を検討中である。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
実質公債費比率	%	15.9	10.1		
経常収支比率	%	89.7	91.0		
市税徴収率	%	93.62	94.00		
職員数	人	287	264	265	
人件費及び人件費に準ずる費用の割合	%	23.6	25.5		

	具体的な事業・取組み					
1	定員適正化の推進	② アウトソーシングの推進				
3	新善通寺市機構改革計画に基づく 機構改革の推進	④ 人事管理などの見直し				
<u>5</u>	適正課税の推進及び徴収率の向上	⑥ 財政計画の策定				
7	枠配分予算の導入					

総合計画の体系					
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-1 子育て支援の充実	施策の主管課	子ども課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 次世代育成支援事業の推進	次世代育成支援行動計画に基づき、子育て支援総合コーディネート事業を実施し、子育て支援総合ディネーターによる子育て支援に関するケースマネージメントや利用援助等を行ったほか、子育て情報ホームページ「子育てほっとCOM善通寺」による子育て支援情報の提供を行った。また、南部保育所とカナン子育てプラザ21に開設している地域子育て支援センターにおいて育児相談等地域の子育て家庭に対する育児支援を行ったほか、つどいの広場事業を実施し、子育て支援の充実を図った。	② 母子保健の充実	妊娠、出産に対する不安の解消のため、助産師・保健師による全戸訪問を実施したほか、乳幼児の成長支援のため、健康診査を実施した。 ・妊産婦・新生児訪問 訪問率98%(H25年度生まれを対象) ・妊婦健診 対象309名(受診票使用率75.6%) ・4ヵ月児健診 受診率98.8%(対象児246名) ・1歳6ヵ月児健診 受診率100%(対象児295名) ・3歳児検診 受診率97.7%(対象児298名) ・5歳児健診 受診率99.4%(対象児311名) ※健診未受診者については電話や訪問等により受診勧奨を行った。
③ 保育サービスの充実	多様化する保育ニーズに対応するため特別保育の充実を図ったほか、保育環境の改善のため施設整備を行った。 ・延長保育⇒目標どおり認可保育所(園)全7ヵ所で実施した。 ・病児、病後児保育⇒カナン子育てプラザ21と西川クリニックで実施した。 ・休日保育⇒カナン子育てプラザ21で実施した。 ・一時保育⇒カナン子育てプラザ21で実施した。 ・障害児保育⇒認可保育所(園)全7ヵ所で実施している。 ・老朽化した吉原保育所建て替えのための実施設計を行ったほか、各保育所で修繕が必要な箇所について、随時修繕を行った。	④ 要保護児童などへの対応の推進	要保護児童対策地域協議会(実績⇒実務者会議3回・代表者会議1回・個別ケース検討会議32回開催)の個別ケース検討会を随時開催し、関係機関と情報を共有し、連携をとりながら迅速に要保護児童への支援対応にあたった。・H25年度虐待ケース進行管理台帳登録者45人(内、新規登録者13人・児童養護施設入所者16人) また、児童虐待防止に向け、保・幼・小・中の保護者などへ啓発パンフレットを配布したほか、児童虐待の早期発見、早期対応を呼びかける街頭啓発活動を行った。
⑤ 相談・援助体制の充実	育児不安や子育ての悩みの解消を図るため、保健師、助産師、栄養士等によるマタニティ一教室(11回)、すくすく教室(12回)、乳幼児相談(24回)、離乳食・幼児食講習(24回)、子ども発達相談(12回)等を行ったほか、各保育所において、子育て相談を実施した。また、子育て家庭の経済的負担を軽減するため乳幼児、児童等の医療費の助成を実施し、子育て支援の充実を図った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
延長保育実施保育所数	箇所	7	7		
子ども・家庭支援センター利用者数	人	20,000	19,315		
子育て支援体制の状況	%	25.0	56.8		
子育て支援に関する活動参加希望率	%	18.2	_	\supset	\supset

	具体的な事業・取組み					
1	児童環境づくり推進事業	2	子ども・子育て支援事業計画策定事業			
3	地域子育て支援センター事業	4	延長保育			
<u>5</u>)	一時保育	6	休日保育			
7)	障害児保育	8	病児•病後児保育			
9	発達障害児支援体制整備事業	10	子育て支援総合コーディネート事業			
11)	子育て支援医療費助成事業	12	つどいの広場事業			
13)	妊産婦·新生児等訪問指導	14)	妊婦·乳幼児健康診査			
15)	乳用児健康診査	16)	保育所等整備事業			

	総合計画の体系				社会福祉課
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-2 保健・医療の充実	施策の主管課	保健課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 健康づくり意識の高揚と主体的 活動の促進	市民の健康意識の向上と生活習慣の改善を図るために、各地区公民館、市役所などで健康相談を実施した。健康相談では、体組成、骨密度、ストレス、血管年齢、肌年齢、血圧などの測定も行い、49回の開催で延べ967人が参加した。生活習慣病予防を目的に、健康づくり講座を実施した。6か月の期間に全体会、栄養教室、運動教室など計12回開催し、延べ125人が参加した。また、この講座の修了者を対象に、その後の2年間はフォローとして運動教室等を継続して実施し、13回で延べ145人が参加した。	 ② 各種健診の充実	生活習慣病の早期発見、早期治療、予防意識の普及啓発を図るために健康診査、人間ドック、各種がん検診を実施した。健診(検診)については、人間ドック、市内医療機関での健診(検診)、集団検診と市民の受けやすい方法が選択できるようにし、健康推進員会を通じて受診勧奨を行った。がん検診においては、肺がん検診の受診率が目標の50%を超え、55.7%であった。保健師による家庭訪問は、健診後の指導を要する者、がん検診精密検診未受診者などを中心に行った。
③ 精神保健福祉対策の推進	毎月広報誌に精神保健福祉相談を掲載したことにより、平成25年度の精神保健福祉相談・訪問件数は延べ690件であり、「ふれあいポート善通寺」事業には延べ301人が参加した。また、「ストレス測定器」を市役所1階ロビーに常設するほか、各地区公民館で実施する健康相談にも活用し、適切なサービスを提供した。	④ 歯科保健の推進	平成25年6月9日、歯と口の健康週間行事として、6歳までの乳幼児を対象に歯の検診、はみがき指導等及び成人を対象とした口腔がん検診を実施した。この行事には、420人の乳幼児の参加があり、口腔がん検診には、40人が受診した。成人歯科保健に関しては、1歳6か月児健診を受診する幼児の保護者を対象に歯科健診、衛生指導を実施し、156人が受診した。
⑤ 感染症対策の推進	「予防接種ノート」、「予防接種計画表(個別計画表)」を生後1か月頃に送付し、計画的に予防接種が実施できるように周知するほか、未接種者への再通知、養護教諭との連絡会、広報などさまざまな機会を活用し周知に努め、接種率の上昇を図っている。インフルエンザ流行時には広報掲載、健康推進員会を通じてのチラシの配布など市民への啓発啓蒙活動に努めた。	⑥ 食育の推進	地区組織と協働で市民の食意識の向上のための活動を推進した。「生活習慣病を予防しよう」をテーマに地域での栄養教室、親子の食育教室、大学生への栄養教室、男性の食育教室、小学校・幼稚園での栄養教室を実施した。
⑦ 救急医療の充実	休日外来で対処し得る患者への初期救急医療を確保するため、在宅当番医制事業を本市と仲多度郡の3町が協定の上、仲多度・善通寺医師会に委託して実施した。 また、中讃医療圏域における夜間救急患者の受入体制を整えるため、圏域の3市5町が協定し、救急医療体制を持つ5病院が行う病院群輪番制病院事業に対し、補助を行った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
保健事業への参加者数	人	20,094	24,203	20,500	21,000
各種がん検診受診率	%	32.7	32.4	40.0	50.0
成人歯科健康診査実施数	人	147	156	200	300

	具体的な事業・取組み						
1	保健衛生管理事業	2	在宅当番医制事業				
3	医師会協力事業	4	救急医療対策事業(病院群輪番制病院事業)				
5	健康生きがい中核事業(健康運動教室)	6	健康運動教室施設整備				
7	健康診査及び各種がん検診等の受診事業	8	予防接種				
9	食育推進事業	10	狂犬病予防事業				
11)	歯の衛生週間行事(むし歯予防教室)	12	ヘルススクール等健康教室実施事業				
13	地区組織育成	14)	いきいきキラッと善通寺をひろめる会活動				
<u>15</u>)	精神保健福祉対策の推進	16)	感染症対策の推進				

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-3 高齢者福祉の充実	施策の主管課	高齢者課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 高齢者支援推進体制の整備	窓口や電話での相談や情報提供、広報紙による高齢者へのアドバイスやサービスの情報提供を行った。	② 地域支援事業の推進	介護支援専門員による高齢者訪問、ケアプランの作成や、地区社協・民生委員と連携し、支援が必要な高齢者の把握に努めた。また、地域包括支援センターを中心に居宅介護支援事業所と連携し高齢者を支援するとともに、地域ケア個別会議を開催し、高齢者の問題解決にあたった。家族介護教室の開催や夜間休日の電話相談も実施した。
③ 保健福祉サービスの推進	悠遊元気教室(運動機能向上事業)122回、食楽元気教室(栄養改善事業)12回、のびのび元気教室(認知機能低下予防・支援事業)42回、よくばり元気教室(運動・栄養・口腔・認知症予防複合型事業)40回それぞれ実施した。	④ 生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者の学習や交流を支援するため老人クラブに活動助成するとともに、高齢者の就業支援のため仲善シルバー人材センターに交付金を交付し、高齢者が豊かな生活を送れるよう支援に努めた。
⑤ 高齢者が住みよいまちづくりの推進	介護予防サポーターフォローアップ研修を開催し、高齢者が住みなれた地域で安心して生活していくために必要な見守り活動事業を開始した。また、65歳以上のひとり暮らし高齢者等の急病や災害等の緊急時に迅速に対応するため、緊急通報装置を貸与するなど、高齢者が住みよいまちづくりを推進した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
シルバー人材センター会員数	人	1,229	1,107		$\sqrt{\ }$
要介護認定率	%	13.4	16.5		$\stackrel{\textstyle \frown}{\square}$
高齢者支援体制の満足度	%	28.5	_		
健康維持への取組みをしている高齢者割合	%	68	_		

① 敬老行事・高齢者訪問	② 緊急通報体制整備等事業
③ 軽度生活援助事業	④ 老人無料・生きがい入浴券交付事業
⑤ 市民バス運行事業	⑥ 高齢者の就労の場の確保および支援
⑦ 生きがい対応型ディサービス事業	⑧ 老人クラブ活動事業
⑨ 地域見守り体制整備事業	⑩ 二次予防事業訪問型介護予防事業
① 二次予防事業通所型介護予防事業	② 介護予防ケアマネジメント事業
③ 二次予防事業の対象者把握事業	④ 一次予防事業介護予防普及啓発事業
⑤ 一次予防事業地域介護予防活動支援事業	⑥ 二次予防事業評価事業
⑪ 地域包括支援センター管理事業	⑱ 総合相談支援事業
⑨ 権利擁護事業	② 包括的・継続的ケアマネジメント事業
② 介護給付等費用適正化事業	② 家族介護教室開催事業
③ 家族介護継続支援事業	⑭ 成年後見制度利用支援事業
② 福祉用具・住宅改修支援事業	②⑥ 地域自立生活支援事業

具体的な事業・取組み

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-4 障がい者福祉の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 障害者総合支援法に基づく 障がい者支援の充実	障がい者の生活に応じた支援を実施し、居宅介護の利用者51名、施設入所支援の利用者44名であり、障害福祉サービス全体の実利用者は、181名であった。		障がい者の相談支援事業は、ふらっと及びはなぞのに委託して実施しており、福祉サービスの利用や健康問題等の相談が4,472件あった。また、社会福祉課においても精神保健福祉士を配置し相談業務を実施しており、同様の相談が690件あった。
③ 障がい者の生活の安定	広報ぜんつうじ7月号に「市民福祉年金について」の記事を掲載することで制度の周知に努めた。市民福祉年金の受給者は285人、特別障害者手当の受給者は35人であり、障がい者の生活の安定に寄与した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
訓練等給付(就労支援など)の支給決定者数	件	27	61		
移動支援事業の支給決定者数	件	49	43		
地域活動やスポーツ・文化活動に参加している 障がい者数	Д	26	14		
相談支援事業所(身体・知的)の利用件数と 実利用人数	件 (人)	2,847※ (175)※	3,816 (161)		
相談支援事業所(精神)の利用件数と実利用人数	件 (人)	570 (25)	656 (33)		

※平成23年度実績値(県が平成22年度に利用件数のカウントの仕方を見直した為)

具体的な事業・取組み

- ① 障害者介護費及び施設利用費給付事業
- ③ 障害者生活相談支援等事業
- ⑤ 障害者車椅子及び装具等給付事業
- ⑦ 障害者福祉年金等給付事業

- ② 障害者訓練費及び就労支援費給付事業
- ④ 障害者人工透析等医療費給付事業
- ⑥ 障害者医療費助成事業
- 8 精神障害者居場所づくり事業 (ふれあいポート善通寺)

	総合計画の体系				保健課·市民課
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-5 社会保障の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 国民健康保険事業の適正運営	国民健康保険被保険者で退職被保険者の資格を有する者について、公簿等で確認できる場合には職権での適用を行った。また、定期的に医療費通知及びジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付し、国保制度や医療費に対する関心を高めるとともに、重複・頻回受診者や糖尿病療養者の自宅を定期的に訪問して生活指導を行うなど、医療費の適正化に努めた。 さらに、国民健康保険税の適正な賦課総額の確保に努めるとともに、口座振替を推進することで徴収率の向上に努めた。		広報ぜんつうじ8月号に「国民年金免除・猶予制度について」、10月号に「後納制度について」、1月号に「20歳になる方への国民年金加入のお知らせ」の記事を掲載し、年金制度の周知を図った。また、平成26年4月1日からの制度改正にむけて、新制度の内容を広報紙に掲載したり、市民課窓口にパンフレットを設置したりし、制度改正の周知に努めた。さらにケースワーカーと連携をとり、生活保護受給者に国民年金加入や免除の申し出をしてもらい、生活保護受給者の保険料未納期間の解消に取り組んだ。
③ 生活保護制度の適正運用	生活保護行政に対する市民の理解と信頼を損なうことがないよう、公正・公平・正確に運営するため要保護者の相談に適切に応じるとともに、他法他施策の積極的な活用や国・県等関係機関との連携を図り、真に保護を必要とする者に対しては、きめ細やかな援助に努めるとともに、就労可能な被保護者に自立を促すために、就労支援員によるハローワークでの求職活動の支援を行った。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
国民健康保険税徴収率	%	79.0	78.3	81.0	83.0
国民健康保険税口座振替率	%	45.9	48.0	48.0	50.0
生活保護から自立した世帯数	世帯	12	8	15	18

具体的な事業・取組み					
① 要援護者就労支援事業	② 生活扶助費等支給事業				
③ 医療費適正化事業(健康づくり事業)	④ 特定健康診査等事業				
⑤ 国民年金制度の周知	⑥ 国民健康保険税に係る徴収率の向上				

総合計画の体系				関係課	
基本目標	2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり	基本施策	2-6 地域福祉の充実	施策の主管課	社会福祉課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 福祉意識の高揚	平成22年度に中間見直しを行った「しあわせプランぜんつうじ」(善通寺市地域福祉計画・地域活動計画)に基づく、ネットワークづくり、拠点・活動の場づくり、地域福祉活動リーダーの育成等の推進に努めた。また、しあわせプランぜんつうじ推進会議を実施し、取り組み状況報告や意見交換を行った。地域福祉活動の啓発として、地域福祉セミナーや地区での福祉委員・役員研修会、ふれあい・いきいきサロンの交流会等において、地域福祉活動についての啓発を行い、市民の福祉意識の高揚に努めた。	② 社会福祉協議会、関係団体などの 活動支援	社会福祉協議会が行う主な事業である居宅要援護者把握・災害時要援護者登録事業の継続的かつ安定的な活動を支援することで、地域の日常的な見守り活動を中心に災害時の避難指示等に活用するとともに、登録者に安心キットを配布し、緊急時に迅速な対応ができる安心安全な地域づくりを推進した。 また、平成25年は、地域福祉の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の一斉改選時にあたり、8地区から推薦のあった候補者の選考及び民生委員活動の支援に努めた。
③ ユニバーサルデザインのまちづくり	高齢者や障がい者の活動範囲の拡大を図るために、民間事業者との連携を図り、市民が利用する施設のバリアフリー化を呼びかけている。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
福祉ボランティア登録者数	人	807	707	850	900
ボランティア登録団体数	団体	31	33	33	35
社会福祉協議会会員世帯	世帯	9,209	9,200		

	具体的な事業・取組み						
1	社会福祉協議会活動支援事業	2	しあわせプランぜんつうじ推進事業				
3	民生児童委員活動支援事業	4	ユニバーサルデザインのまちづくり				

	総合計画の体系				学校給食センター
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-1 学校教育の充実	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 学力の向上	「学校支援のための市費講師雇用事業」においては市費雇用による講師が、小学校では図画工作科(1名)、音楽科(1名)の指導を、中学校では補充学習(1名)を行った。「小学生学力向上等対策事業」では、英語指導者(4名)を雇用して小学校での英語指導の充実を図った。また、幼稚園においては「幼児教育力総合化支援事業」において、文字遊び(3名)、音楽遊び(1名)の指導者を雇用し、幼児教育の充実を図った。	② 特別支援教育の推進	平成25年度は、生活支援員を幼稚園に12名、小学校に13名を配置し、要支援園児・児童が安心して園・学校生活を送れるように支援を行った。
③ 心の問題への対応	「いじめ対策事業」として、県のスクールカウンセラー配置事業を活用し、不登校などの児童生徒に関わる問題を抱える学校に対してスクールカウンセラーを派遣することで、教職員との連携のもと、いじめ・不登校問題の未然防止、早期対応等を図った。	④ 子どもの安全の確保	保護者や地域との連携、補導員の活用により、子ども達の見守り活動の推進を図った。
⑤ 学校教育施設・設備の整備充実	西中学校の校舎改築については、平成26年2月に新校舎が完成し、3年生は、短い期間ながら新校舎で過ごし、卒業していくことができた。 中央幼稚園及び南部幼稚園について、園舎耐震改修工事が完了した。これによって、幼稚園における園舎耐震補強事業は完了した。一方、吉原幼稚園の外壁等改修工事については、実施設計が完成した。	⑥ 教育機器の整備	各学校において、校内LANや電子黒板等の機器の活用及びソフトウェアや周辺機器の充実を図った。
⑦ 学校給食の充実	児童生徒の成長期における健康な体づくりに、家庭で不足しがちな栄養素を取り入れ、栄養バランスに配慮した給食を実施していく。 また、豊かな心の育成を目指し、四季折々の伝統行事にちなんだ料理・各地の郷土料理を積極的に取り入れることにより、地域との連携を強化し、郷土への関心を持ってもらえるよう努める。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
児童生徒の長期欠席率(小学校)	%	0.9	0.4		
児童生徒の長期欠席率(中学校)	%	6.9	4.6		<u></u>
地元産品を取り入れた給食の実施回数	回	201	198		
学校教育環境についての満足度	%	26.2	_		

具体的な事業・取組み						
① スクールカウンセラー配置事業	② 幼稚園舎耐震改修事業					
③ 幼稚園整備事業	④ プール改修事業					
⑤ 学校給食センター改築事業	⑥ 学校支援のための市費講師雇用事業					
⑦ 小学生学力向上等対策事業	⑧ 幼児教育力総合化推進事業					
⑨ 特別支援教育の推進	⑩ 子どもの安全の確保					
⑪ 教育機器の整備	① 学校給食の充実					
③ パワーアップ事業	① スタディアフタースクール事業					
⑤ 西中学校校舎改築事業	⑥ 幼稚園茶道体験教室					

総合計画の体系			関係課	教育総務課・建築住宅課・市民会館・図書館	
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-2 生涯学習社会の確立	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 社会教育関連施設の充実	県道48号善通寺・詫間線の拡幅工事に伴う吉原公民館改築工事については、改築工事・除却工事ともに終了した。また、東部公民館、竜川公民館、与北公民館駐車場の舗装劣化が進んでいたため、駐車場舗装工事を行った。旧善通寺西高等学校体育館耐震化事業については、耐震補強等改修工事実施計画業務委託契約を締結し、平成26年度に耐震工事を行う。	② 図書館の充実	市民からの多様な調査研究や趣味に応えるために、図書館資料の整備・充実を図るとともに地域の情報収集と発信に努めた。また、利用サービス拡大のために保存期限切れの雑誌を利用者に譲与したり、障害者に、県内外の点字図書館・視覚障害者センターより録音図書を借受け提供に努めた。企画展では、「暮らしに役立つ防災展」を開催し、防災グッズや防災関連の資料を紹介し防災意識と知識の向上を図った。定住自立圏形成に関する図書館分野においては、圏域内の図書館で貸出した資料を圏域内の他館でも返却できるサービスを開始し利用促進に努めた。
③ 特色ある生涯学習プログラムの整備と提供	地域の交流を図り、趣味や生きがいを発見するなど、高齢者の社会参加推進を目的に、「イキイキときめき大学」「寿大学」「婦人中央学級」等を実施した。 イキイキときめき大学・・・登録者数652名 年間8地区各校13~15回開催 (延べ112回) 延べ2,918人参加 寿大学・・・登録者数648名 年間11回開催 延べ2,339人参加 婦人中央学級・・・登録者数222名 年間11回開催 延べ1,194人参加	④ 教育団体などへの活動支援	婦人会・PTA・子ども会が独自の事業を展開できるよう公的支援に努めた。 〇婦人会・・・親子運動会・婦人文化展等婦人会活動の支援・協力 〇PTA・・・非行防止キャンペーン・ソフトボール大会・ソフトバレーボール大会等 PTA活動の支援・協力 〇子ども会・・・校区親善相撲大会・ソフトボール大会・ドッジボール大会等の支援

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
地区公民館利用者数	人	103,520	89,624	105,000	108,000
市民会館利用者数	人	154,230	127,018	157,000	160,000
図書館利用者数	人	101,089	124,926	103,000	105,000
図書の市民一人当たり貸し出し冊数	m	3.8	4.4	4.0	4.3
生涯学習関連の講座・教室の参加者数	人	7,949	6,451	8,500	9,000
市の生涯学習環境についての満足度	%	20.1	_		

① 市民会館耐震改修整備事業 ② 地区公民館耐震改修整備事業 ③ 生涯学習関連の講座・教室の開催 ④ 教育団体活動支援事業 ⑤ 吉原公民館改築工事 ⑦ 旧善通寺西高等学校体育館耐震化工事

具体的な事業・取組み

総合計画の体系			関係課	教育総務課・建築住宅課	
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-3 生涯スポーツの振興	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① スポーツ施設の整備充実・有効 活用	市内小中学校体育施設を開放し、地域住民が気軽にスポーツに親しめる場を提供するとともに、学校と地域社会の共同利用を促進した。また、市民体育館の照明器具取替をはじめ、体育施設の備品購入や表示板等の修繕を行い、利用者の利便性向上や安全確保のためのスポーツ施設の整備に努めた。		小学生を対象とした初心者スポーツ教室では、レスリング・少林寺拳法・空手・柔道・剣道・ソフトテニスの種目で実施し、新しいスポーツを体験することで、スポーツに親しむ習慣を身につけるとともに、健康・体力作りの育成を図った。
③ スポーツ団体、指導者の育成	スポーツ推進委員の育成及び各地区体育振興会、体育協会、スポーツ少年団等の活動を育成・助成し、生涯スポーツ活動の活性化を支援した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
体育施設利用者数	人	231,091	261,139	240,000	250,000
社会体育事業参加者数	Д	4,197	4,406		\supset
初心者スポーツ教室参加者数	人	89	100	100	120
スポーツ環境の満足度	%	23.8	_		
週1回以上スポーツ活動をしている人の割合	%	22.0	_	\supset	

具体的な事業・取組み				
① 体育施設耐震調査	② トレーニング指導事業			
③ 体育施設管理運営事業	④ スポーツ団体活動支援			
⑤ スポーツ事業の開催				

総合計画の体系			関係課		
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-4 青少年の健全育成	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 青少年の非行など問題行動の防止	5月31日に補導員の委嘱式及び研修会を行い60名に委嘱をした。 8校区、月2回巡回できる予定表を作成し、臨時補導を含め180回、延べ490人で 補導を実施した。 白ポスト1基から、有害図書431冊、DVD89本、ビデオ26本を回収し、環境浄化に 努めた。	② 家庭における青少年育成への支援	電話や来所で13件の相談があり、学校へ連絡して対応したり、専門の相談機関 を紹介するなどした。
③ 広報啓発活動の強化	夏休み前に、市内小中学生全員に相談のリーフレットを配布した。		青少年を健全に育成するには、青少年が地域のコミュニティ活動等に参加し、豊富な生活体験を得ることが重要であるため、市内各種育成団体間の連絡調整に努めた。
⑤ 調査・研究・研修及び情報収集・ 提供機能の充実	中讃少年サポートセンターに対して、中学校の月間予定を通知するなど情報を 提供することで、補導活動に活用してもらうなど、情報交換を行った。 相談業務担当者研修会に参加した。 SSW(スクールソーシャルワーカー) や学校と随時情報交換を行った。	○ 海内比道数束の関訊	SSW(スクールソーシャルワーカー)や養護教諭との連携を密にし、速やかに対応できるよう努めた。 平成26年3月の時点では6名が通級。うち5名は中学3年生であり、希望する高校へ進学できた。 お菓子作り、こんぴら石段登山、カヤック体験などの野外活動も実施した。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
青少年補導件数	件	58	31		
市の青少年の健全育成環境についての満足度	%	14.2	_	<i>>></i>	

具体的な事業・取組み						
① 少年育成センター事業	② 不登校児童生徒適応指導教室設置事業					

総合計画の体系			関係課		
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-5 地域文化の継承・創造	施策の主管課	生涯学習課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 芸術・文化団体、指導者の育成	各種芸術・文化団体の育成・支援に努めるとともに、文化協会・文化財保護協会との連携、指導者やボランティアの育成・確保を図り、市民の自主的な芸術・文化活動の一層の活発化を促した。	② 文化イベントなどの充実	地域の特色を生かした文化祭、講演会や展覧会の開催など魅力ある文化行事の企画・開催を市民との協働のもとに進め、既存施設を活用した多様な芸術・文化を鑑賞する機会と活動成果を発表する機会の充実に努めた。自主事業としては、優秀映画鑑賞事業、アンサンブルビオールコンサートなどが定着しつつある。
③ 文化財の保存	指定文化財の適正な保護に努めるとともに、その他の文化財や埋蔵文化財についても計画的に調査を推進した。また、民俗芸能などの無形文化財についても、保存団体の育成・支援、後継者の確保を図り、積極的にその保存・伝承に努めた。平成25年度は平成23年度より継続して実施している県指定史跡善通寺オオクスの保存を県・善通寺と協議して経過観察を行った。	④ 文化財の活用	文化財の活用については、地域文化の理解を深めるため、啓発活動や講座、展示など文化財に対する市民への意識の向上を図ります。また、文化財を通じた情報発信と交流活動での活用を図ります。平成25年度は王墓山古墳及び善通寺旧境内出土遺物の保存処理を行ったほか、吉原大塚池1号墳ほか市内主要古墳の普及啓発DVDを作成し、市民集いの丘施設内でのタッチパネル再生機による閲覧を可能にしている。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
文化イベント参加者数	人	3,000	3,300	3,500	4,000
文化財保護協会会員数	人	197	170	220	250
文化活動団体登録数	団体	120	111	125	130
市の文化芸術環境についての満足度	%	19.0	_		
市の文化遺産の状況についての満足度	%	32.8	_		\supset

	具体的な事業・取組み							
1	文化・芸術関連行事の実施	2	文化・芸術団体組織の充実・支援					
3	旧善通寺偕行社の利活用	4	埋蔵文化財の調査					

総合計画の体系				関係課	生涯学習課
基本目標	3 躾と教育、人を育てるまちづくり	基本施策	3-6 交流活動の推進	施策の主管課	教育総務課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 交流推進体制の確立	平成25年度は、中国の遼寧省大連市から来日した音楽団「山泉坊」が東部小学校と竜川小学校を訪問し、二胡、琵琶、筝、笛の4種類の中国楽器によるコンサートと演奏指導などを通じた両校児童との交流を行った。	② 地域間交流の促進	平成25年度は、歴史友好都市である和歌山県高野町の中学生11名が、8月26日~27日の2日間、善通寺市を訪れ、東・西両中学校の生徒と社会見学や体験学習等を通して交流を行った。また、高野町や姉妹都市である長崎県平戸市の小・中学校と図画など作品を交換し合い、展示を行った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
交流事業参加者数	人	126 (H23実績)	583		
国内外との交流活動の状況についての満足度	%	8.3	_		

具体的な事業・取組み						
① 交流推進体制の確立	② 姉妹都市の児童·生徒作品展					
③ 高野町・善通寺市中学生交流事業						

総合計画の体系			関係課	農業委員会	
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-1 農林業の振興	施策の主管課	農林課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 農地の保全・活用	農地の生産基盤整備を目的として、農道舗装を12路線で1,067m、農道整備を1路線で45m、水路改修を11箇所で629m、ため池改修を2個所及び樋門改修4個所、揚水機の改修を1箇所実施した。	② 遊休農地の有効活用	遊休農地の解消と活用を図るため、(財)善通寺市農地管理公社において、平成25年度末時点で21haの保全管理をしている。
③ 意欲ある農業者の育成・確保	次世代を担う新規就農者が円滑に就農できる環境を整えるための施設整備等に要する支援をした。また、集落での連携を図るため、新たな営農組織の設立に向けた取り組みに対して支援した。なお、現在の認定農業者については、個人37経営体、法人11経営体の計48経営体となっている。	④ 生きがい型農業の推進	農業従事者の減少や高齢化に伴う担い手不足を解消するため、新たな集落営 農組織を立ち上げるために支援する事業を推進した。当事業を実施することで効 率的な農業経営を可能にすることができるため、引き続き事業推進に努める。
⑤ 農商工連携の強化による地域 特産品の開発	農業生産法人等が主体となり、他産業と連携して農産物の加工や販売等に取り組む6次産業化の促進に向けての、農業機械購入や施設整備について支援した。また、農商工の連携を強化するとともに市の産業の活性化を目的とし、「農商エフェスタ」を平成25年11月に開催した。		

7

21)23)

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
集落営農組織(特定農業団体)数	組織	7	11	$\qquad \Longrightarrow \qquad$	\Longrightarrow
認定農業者数	人	42	48	50	55
農業生産法人数	法人	8	11	15	20
新規就農者数	人	4	6	6	8
新規就農者育成塾修了者数(ゆめらく支援塾)修 了者数	人	40	29	$\qquad \Longrightarrow \qquad$	\bigoplus
市民農園開設数	箇所	3	2	6	10
市の農業振興についての満足度	%	7.6	_		
担い手への農地の利用集積	ha	445	323	530	600
遊休農地の面積	ha	31	22	15	0

-							
具体的な事業・取組み							
農用地保全管理事業	2	農業振興地域整備計画事業					
農道整備事業	4	ため池管理事業					
水路改修事業	6	畑地かんがい施設維持管理事業					
農地無断転用防止特別事業	8	農地制度実施円滑化事業					
定例農業相談事業	10	認定農業者農地集積支援事業					
認定農業者経営改善リース支援事業	12	農業近代化資金利子補給事業					
農業経営基盤強化資金利子補給事業	14)	新規就農者育成事業					
機械化·効率化促進事業	16	有害鳥獸被害対策事業					
森林害虫等防除事業	18	環境保全型農業支援事業					
堆肥化調査研究事業	20	市民農園開設事業					
農林業展開催事業	22	農業特産品開発支援事業					
農林業団体支援事業	24)	米政策改革支援事業					
畜産業の振興事業							

総合計画の体系			関係課		
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-2 商工業の振興	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 経営体質・基盤の強化	厳しい経営環境に対応し、経済振興対策融資資金等の預託やセーフティネット保証制度認定業務、商工会議所との連携による商工振興事業を実施した。具体的な事業として、商工会議所運営交付金などの商工振興事業に4,385千円交付し、経済振興対策融資資金などの中小企業経営強化事業に61,000千円金融機関へ預託し、経営体質・基盤の強化を促進した。		長引く不況の影響や消費者ニーズの多様化により、空き店舗化などが顕在化しており、中心市街地の活性化に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、空き店舗対策事業などの施策を実施した。具体的な事業として、TMO組織である「まんでがん」への支援としての中心市街地活性化事業に3,807千円、空き店舗等活用支援事業に、10,112千円交付し、中心市街地の活性化を図った。
③ 企業誘致の推進	関係機関との連携のもと、遊休地情報の収集・立地情報を提供するとともに、香川県企業誘致推進協議会が出展する、第16回関西機械要素技術展において、企業誘致活動を実施した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
商店数	店	492	_		
年間商品販売総額	万円	6,793,013	_		
事業所数(従業員4人以上)	事業所	58	54		
製造品出荷額等総額	万円	3,684,851	3,528,930		

	具体的な事業・取組み						
1	商工振興事業	② 中小企業経営強化事業					
3	消費者活動活性化事業	④ 中心市街地活性化事業					
⑤	空き店舗等活用支援事業	⑥ 企業誘致推進事業					

総合計画の体系				関係課	
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-3 観光の振興	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 観光拠点の充実	平成23年に、お遍路さんや観光客と市民が集う交流と情報発信の拠点を目指してオープンした善通寺市観光交流センターにおいて、空海行状絵伝展示会などのイベントを実施するとともに、観光情報の発信を行った。また、市内から2,515名、市外から814名、県外から891名、部屋の使用者が3,248名で合わせて7,468名の皆さんが来館された。	② 観光情報PRの強化	市ホームページ、各種新聞紙上、観光情報誌等に旬な観光情報:を掲載し、情報発信を行なった。また、瀬戸内国際芸術祭の波及効果をねらい、瀬戸芸会場である本島・高見島への発着点となった丸亀港・多度津港に観光パンフレットを配布し、本市への誘客促進に努めた。
③ 観光ボランティアガイドの育成	平成26年2月に第一回目となる観光ガイド養成講座を開講し、一般参加者36名の出席を得た。また、今後2ケ月に1回のペースでの開講予定としている。	④ 広域観光の推進	中讃広域圏3市5町で構成している「さぬき瀬戸大橋広域観光協議会」において、中讃広域圏を全国的に紹介・宣伝するためのパンフレット「Beハートフル」を作成・配布を実施した。また、キャラバン隊を組織し、大阪府豊中市・高槻市において、観光パンフレットや土産品等を配布する宣伝活動を展開し、中讃地域への誘客を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
主要観光施設入場者数	人	1,236,143	1,352,155		
観光イベント参加者数	人	106,000	112,000		
観光ボランティアガイド登録者数	人	0	39		
観光交流センター利用者数	Д	_	7,468		
レンタサイクル利用台数	台	1,278	1,330		

	具体的な事業・取組み						
1	観光宣伝事業	② 観光交流センター運営事業					
3	まちづくり交付金事業						

総合計画の体系			関係課		
基本目標	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	基本施策	4-4 雇用・勤労者対策の充実	施策の主管課	商工観光課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 雇用就業機会の確保	ハローワークや商工会議所などの関係機関や市内事業所と連携し、既存事業所 の支援や就職相談、情報提供、職業斡旋などを集め、雇用の安定と雇用機会の 拡充を推進した。	② 勤労者福祉の充実	善通寺市・丸亀市の中小企業の従業員とその事業主等の福利厚生面を充実させることを目的として設立された「中讃勤労者福祉サービスセンター」へ1,680千円負担するとともに、会員への生活必需品の購入や家屋改修などの生活資金を貸し付けるための資金として10,000千円貸し付けた。また、四国労働金庫へ市内の勤労者に対して生活・住宅・風水害等の災害特別融資をするための資金として10,000千円預託した。また、市民が自ら居住するための住宅を建築または購入に当たり必要な資金を金融機関から融資を受けた場合に、利子の一部を補給することによって、持家の取得の促進を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
中讃勤労者福祉サービスセンター会員数 (善通寺市)	人	603	588		
住宅建設等資金利子補給金交付件数	件	215	185		

具体的な事業・取組み						
① 雇用就業機会促進事業	② 中讃勤労者福祉サービスセンター運営助成事業					
③ 勤労者福祉資金貸付事業	④ 持家取得促進事業					

総合計画の体系			関係課		
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-1 環境施策の総合的推進	施策の主管課	環境課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 環境保全意識の高揚	広報「ぜんつうじ」の環境ガイドのページに定期的に環境情報を掲載した。また、環境探検隊(年2回 参加者39名)を開催し、環境学習の推進を図った。アダプション・プログラム研修会(年1回 参加者31名)及び環境推進連合会の役員研修会(年1回)、各地区環境推進会の研修会(年1回~2回)において、市民の環境保全意識の高揚に努めた。緑のカーテンの推進に取り組んだ。(公共施設20ヶ所で実施)	② 環境保全活動の促進	弘田川、中谷川、二反地川の河川清掃を実施。参加者1,141人。 金倉川の河川清掃は積雪のため中止。 大麻山山頂周辺及びキャンプ場周辺での清掃事業を、月に2~4回の割合で実施した。 アダプション・プログラム推進事業を実施。 (年度末時点での登録者数:個人168人、団体数90) 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の進捗状況について環境審議会を開催した。
③ 公害など環境問題への対応	弘田川及び買田池において、年4回水質検査を実施した。 公害に関する苦情件数: 72件 野外焼却(ダイオキシン類)への指導件数:12件 水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の対策については、中讃保健福祉事務所、警察 署等関係機関との連携のもと、監視・指導に努めた。 主要幹線道路(3ヶ所)で自動車騒音の常時監視を行った。	④ 不法投棄の防止	3名の不法投棄監視員により監視パトロールを実施した。 不法投棄監視員による投棄者の回収量:8,580kg。 不法投棄防止等看板の設置及び市民への配布:25件。 関係機関(県、中讃保健福祉事務所、警察署)と連携して、広域的な監視パトロール体制の強化を図った。また、広報「ぜんつうじ」の環境ガイドのページに啓発記事を掲載した。
⑤ 新エネルギーの利用促進	平成23年10月より、住宅用太陽光発電システム設置費補助制度を開始した。 交付件数:89件 交付額:16,992千円 補助額:1キロワットあたり5万円 上限20万円 電気自動車用急速充電器を1基設置するための実施設計を作成した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市のCO₂排出量	t-CO2	2,803	_	2,662	2,522
環境関係市民団体数	団体	14	14		
環境教育時間数	時間	12	12	18	24
市の環境保全の状況についての満足度	%	29.5	_		
市のし尿処理の状況についての満足度	%	35.8	_		\mathcal{J}

環境保全管理項目(水質·二酸化窒素·悪臭· ① 騒音)検査事業	② 大麻山山頂等・キャンプ場清掃事業
③ 環境審議会活動推進事業	④ 住宅用太陽光発電システム設置推進事業
⑤ 河川清掃事業	⑥ アダプション・プログラム推進事業
⑦ 不法投棄監視事業	⑧ し尿収集運搬業務
⑨ 環境保全啓発事業	⑩ 自動車騒音常時監視事業
① 次世代自動車充電インフラ整備促進事業	

具体的な事業・取組み

総合計画の体系			関係課		
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-2 循環型社会の形成	施策の主管課	環境課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
	環境推進連合会の活動強化のために運営交付金(2,904千円 9,375世帯)を支出し、ごみ処理体制の充実を図った。 仲善クリーンセンター及びエコランド林ヶ谷連絡協議会(年3回)を開催し、2市3町と連携してごみ処理体制の充実に努めた。	② ごみ減量化・3R運動の促進	環境推進連合会を中心に、ごみの分別の徹底及び3R運動の促進に努めた。(生ごみリサイクル事業補助金申請件数:電気式生ごみ処理機42件、手動式生ごみ処理機1件、コンポスト18件) 広報「ぜんつうじ」の環境ガイドのページ及び市ホームページにごみ収集・処理体制に関する情報を掲載し、市民への周知を図った。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市民一人当たりのごみ排出量	kg	200	194	185	165
家庭から出されるごみのうちリサイクルされている 割合	%	22.1	22.9	25.0	30.0
ごみ処理・リサイクルなどの状況についての満足 度	%	60.7	_		
環境に配慮した生活をしていると答える市民割合	%	71.7	_		7

具体的な事業・取組み						
① 市環境推進連合会活動推進事業	② 生ごみリサイクル事業					

総合計画の体系			関係課		
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-3 上下水道の整備	施策の主管課	上下水道課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 計画的な水道施設の整備	配水管の新設・改良工事及び公共下水道工事に伴う水道管の移設工事等において、9路線、延べ約2.3kmの工事を実施した。浄水場においては、沈澱池動力盤の更新や水質計更新工事を実施した。また、新配水池建設の関連工事である新加圧ポンプ場が完成した。	② 水道事業の健全運営	給水収益等の減少を踏まえて経費の節減に努めた結果、約6,700万円の純利益 となり、健全な運営ができた。
③ 渇水対策	平成22年度に新設した生野水源地に引き続き、後1カ所の水源池の新設を計画しているが、年々有収水量が減少していることや県内水道の広域化について検討している現状を踏まえ、新規水源の開発の在り方、必要性について検討中である。	④ 水道施設の耐震化	配水管の新設・改良、公共下水道工事に伴う水道管移設工事には耐震管及び耐震適合管を使用し、耐震化を図った。また、耐震性のある新加圧ポンプ場を建設した。
⑤ 下水道整備の推進	善通寺市流域関連公共下水道事業計画に基づき、認可残区域の下水道整備を推進している。平成25年度は下吉田町、中村町地内の汚水幹線において、延べ約1.7kmの管渠敷設を行った。	⑥ 下水道の普及促進	市民に下水道事業に対する理解を深めてもらえるよう、毎年市のイベントにおいて下水道展を開催し、来場者に下水道事業のパンフレット等を配布するなどPR活動を実施している。また、市広報誌や地元住民への事業説明会を活用して、下水道供用開始時には早期に水洗化が進むよう周知を行っている。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
有収率	%	88.4	85.4	90.0	95.0
老朽管の延長	m	22,410	20,091	18,000	10,000
市の上水道の状況についての満足度	%	42.6	_		
水洗化率	%	92.8	93.2	94.0	96.0
市の生活排水処理の状況についての満足度	%	32.0	_		
下水道有収率	%	83.3	84.3	85.0	87.0

	具体的な事業・取組み								
1	配水管新設事業	2	配水管改良事業						
3	公共下水道工事に伴う配水管移設事業	4	基幹管路耐震化事業						
<u>5</u>	配水池建設事業	6	配水施設整備事業						
7	水源地開発事業	8	水源施設整備事業						
9	浄水場施設整備事業	10	浄水場等運転管理業務委託事業						
11)	水道事業の健全経営	12	節水意識の高揚						
13)	公共下水道施設整備事業	14)	合併浄化槽普及促進事業						

総合計画の体系			関係課	農林課・生涯学習課	
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-4 公園・緑地・水辺の整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 都市公園の活用	花のまちづくり事業の拠点施設である「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園では、花と緑に関する各種講座を50回開催し、延べ870人が受講されました。また来園者数においては、年間90,000人が来援されるなど、年々増加傾向になっている。	② 地域の公園・広場の整備	平成25年度において、現在未整備である4地区からの具体的な要望はなく、新規のボランティア公園供用開始には至らなかった。また、現在整備済の4公園については、供用開始後10余年が経過し、改修整備を余儀なくされているため、状況に応じて改修整備をしている。 今後も、未整備である4地区からの要望等の調査を行うとともに、整備済の公園についても、施設の維持管理等に取り組んでいく。
③ 水辺の整備	平成21年度に水辺公園等の整備を完了して以降、施設状況に応じて改良、修 繕を実施している。また、水辺公園管理協議会へ保全管理のための助成を行っ た。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市民1人当たり公園面積	m [*]	5.76	6.15		
公園利用者数	人	53,502	134,724	70,000	100,000
市の公園・緑地の整備状況についての満足度	%	36.2	_		
市の親水空間の整備状況についての満足度	%	18.6	_		

具体的な	具体的な事業・取組み							
① 都市公園整備事業	② 公園施設整備事業							
③ 市営テニスコート周辺整備事業	④ 水辺環境整備事業							
「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園管理運営事業	⑥ 鉢伏ふれあい公園管理運営事業							
⑦ ボランティア公園整備事業								

総合計画の体系				関係課	生涯学習課・農林課
基本目標	5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり	基本施策	5-5 景観の保全・整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 景観の保全	市の景観形成に大きな影響を与える恐れのある行為については届出を義務付けている。平成25年度では、20件の届出があり、さらなる制度周知、および市民・事業者協働の景観保全に努める。	② 市街地景観づくり	平成19年に活動を開始したガーデンサポーター「花呼さん」60名の会員の方々によって、市街地の公園をはじめ主要道路沿線など7ヶ所で、月3~4回程度、花の植栽や手入れを実施している。なお、多くの市民の方に、これらの活動に参加して頂きたいために、善通寺市ホームページ等で「花呼さん」の会員募集活動も実施している。
③ 景観計画の策定及び景観条例 の制定	平成24年10月1日に景観条例が施行され、市ホームページ等で景観計画及び景 観条例に基づく届出制度について市民及び関係機関へ周知している。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
花のまちづくり事業参加市民割合	%	_	_	40.0	60.0
本市の景観の状況についての満足度	%	37.3	_		
保護樹木・保護樹林の指定数	本	2	0	10	30
本市の緑化の推進状況についての満足度	%	32.8	_		

具体的な事業・取組み							
道路沿線の植栽・植樹整備及び保全 景観計画・景観条例の策定		歴史的建造物の保全 花のまちづくり事業(フラワーバンク事業・ガーデ ンサポーター活動事業)					

総合計画の体系			関係課		
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-1 道路・交通ネットワークの整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 国道・県道の整備要請	県道善通寺詫間線及び県道観音寺善通寺線が整備中である。引き続き国、県 に対して整備要望を行う。		道路舗装については13路線38,182千円、路肩整備・拡幅整備については12路線42,283千円を実施した。引き続き計画的、効率的に事業を進め、安全な道路整備、維持管理に努める。
	36路線において、道路照明灯6基、転落防護柵110.7m、道路反射鏡9基、区画線 9箇所、分離帯標識2基、視線誘導標5基、ガードレール35.5m、誘導標識2基を設 置した。引き続き安全な道路環境の維持に努める。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市道改良率	%	58.2	59.1		
市内の道路の整備状況についての満足度	%	51.0	_		

	具体的な事業・取組み							
1	南大門前にぎわい広場整備事業	2	本郷通東中学校線舗装事業					
3	一高西側線舗装事業	4	橋梁長寿命化修繕計画策定					
⑤	仙遊町7号線道路改良事業	6	橋梁長寿命化修繕事業					
7	与北谷線改良事業	8	各線改良事業					
9	各線舗装事業	10	市道修繕事業					
11)	国道・県道の整備要請	12	吉原町高柳地区道路改良事業					
13	総本山国病東側線歩道整備事業	14)	竜川小学校周辺道路整備事業					

総合計画の体系				関係課	建築住宅課
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-2 住宅・市街地の整備	施策の主管課	土木都市計画課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 良好な住宅地の形成	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建てられた住宅について、耐震診断、耐震改修に補助金を交付しているが、平成25年度は、耐震診断を11件、その結果、耐震改修を行なったものが5件あった。		「善通寺市安心・安全のまちづくり条例」に基づき、善通寺駅前広場周辺における犯罪および事故の未然防止、発生時の迅速な対応等、市民の安心・安全の確保に寄与することを目的に、防犯カメラを設置した。
③ 市営住宅の計画的な整備	平成25年度は、地域の防災、防犯、景観、環境の阻害要因となっている老朽化した市営住宅を39戸除却した。また、今後の市営住宅の供給計画の基本となる市営住宅長寿命化計画を策定した。	④ 排水路の整備	市街地を中心に排水路整備14箇所、工事費24,238千円を実施した。引き続き排水不良、老朽化の著しい水路の改修を行い生活環境の改善を図る。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市の住宅施策の状況についての満足度	%	21.5	_		

具体的な事業・取組み							
① 住環境整備事業	② 老朽化住宅除却事業						
③ 住宅改善改修事業	④ 各所排水路改修工事						
⑤ 民間住宅耐震対策支援事業	⑥ 市営住宅長寿命化計画策定						
⑦ 香川県に対する中谷川の改修要請							

	総合計画	関係課	土木都市計画課		
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-3 交通安全・防犯体制の充実	施策の主管課	市民課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 交通安全意識の高揚	春・夏・秋と定期的に交通安全キャンペーンを善通寺署と共に各自治会、学校関係者等のボランティアの協力のもと、ドライバーや歩行者に交通安全意識と交通マナー向上の啓発活動を実施している。また、9月には、自転車通学の生徒へ交通ルールを守った安全運転の協力依頼をキャンペーンを通じて行った。学校には、啓発用ののぼり旗を設置していただき、根気よく持続的な活動を依頼した。 平成25年中の交通死亡事故者は3名で、1名減少したものの、交通事故発生件数は410件と横ばい状況であり、今後も継続的な啓発活動を実施する。		36路線において、道路照明灯6基、転落防護柵110.7m、道路反射鏡9基、区画線 9箇所、分離帯標識2基、視線誘導標5基、ガードレール35.5m、誘導標識2基を設 置しました。引き続き安全な道路環境の維持に努めます。
③ 防犯意識の高揚	善通寺署の協力のもと、「県民とともに築く安全で安心な香川の実現」を基本的な方針に掲げ、市民、関係団体、事業者等の協力をいただきながら、小学校においては、「不審者対応訓練」、「防犯教室」、中学校・高校では、「薬物乱用防止教室」、「サイバー犯罪防止教室」、一般には、「振込め詐欺防止声かけ訓練」等身近な犯罪等の防止及び環境浄化活動を実施し、犯罪の減少に努めている。また、平成25年中の刑法犯認知件数は357件、昨年より8件減少するなど一定の成果を挙げている。		善通寺署の協力により、中国銀行前の交差点に、市内9基目となる防犯カメラ付緊急通報装置が完成しました。また、善一・尽誠高校の周辺には、性犯罪防止のため、49台の太陽光充電式センサーライトが設置されました。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
交通事故発生件数	件	393	410	<i>[</i>]	
刑法犯認知件数	件	424	355	<i>[</i>]	
身近な地域での防犯活動・パトロール活動に参加 している人	%	8.9	11.3		
市の交通安全体制についての満足度	%	23.8	_		
市の防犯体制についての満足度	%	22.8	_		7

具体的な事業・取組み								
)市交通対策協議会交付金交付事業	② 市防犯協会交付金交付事業							
)防犯灯設置推進事業	④ 交通安全施設整備事業							

	総合計画の体系				消防本部·高齢者課
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-4 消防・防災・救急体制の充実	施策の主管課	防災管理室

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 総合的な防災体制の確立	市の防災業務の基礎となる「地域防災計画」の災害対応における体制を見直し、より迅速かつ効果的な対応ができるよう改正した。非常用備蓄に関しては、香川県の被害想定や避難者総定数が大幅に変更になったため、数年かけて備蓄の増量を行うことにしている。また、他団体との連携に積極的に取組み、平成25年度だけで4団体との災害時協定を締結し、災害時の体制について強化を図った。さらに、住民への緊急情報の伝達を強化するため、防災行政無線の整備に向け、設計業務を実施した。	② 地域での防災力の強化	昨年度から始めた「地域防災リーダー育成支援事業」を引き続き実施し、新たに 14名の防災士が誕生した。また、自主防災会で行われる防災訓練や勉強会等に 企画段階から積極的に支援し、講師の派遣等を行った。例年行っている防災講演 会には仙台FMの阿部清人氏を招き、災害を科学実験により分かり易く説明し、子 供でも楽しめる講演会を行い、市民の防災意識の啓発と知識の向上に努めた。
③ 災害時要援護者対策の充実	要援護者台帳の情報をハザードマップシステムと組み合わせ、防災体制の基礎 情報として活用している。今後も、関係機関と連携を図りながら、要援護者情報の 更新をしていく予定である。	④ 常備消防・救急体制の充実	平成26年度において、丸亀市・善通寺市・多度津町3消防本部の通信指令業務 を共同運用で実施するため、丸亀市消防本部の高機能指令台を改修した。このこ とにより、通報から現場出場・出動時間の短縮が図られ、救命率の向上、及び消 火活動開始時間の短縮に繋がる。
⑤ 消防団の活性化	災害時には必要不可欠な機関であることにより、消防団員の研修会を開催し知識・技術の習得を図った。 また、消防団員定数360名を充実するために努力した結果、352名の団員を確保した。 (退職団員19名・新入団員18名)	火災予防・初期消火・救急救命に関する知識の普及	火災のないまちづくりを目指して、火災予防を重点に市民の防火意識の高揚を図るため、防火ステッカーを市内全世帯に配布した。さらには、住宅用火災警報器の設置推進啓発運動を実施するとともに、火災予防広報に努めた。 傷病者の救命率向上を図るため、普通救命講習 I を10回、延べ107名の方に開催した。
⑦ 消防庁舎などの建設	筆岡地区の防災拠点施設として、第7分団屯所の新築移転整備が完了、また、本年度で新消防庁舎等の実施設計が完了したことにより、南海トラフ大地震にも耐えうる消防庁舎・備蓄倉庫等の建設工事に平成26年度繰越事業として実施する。 さらには、耐震性防火水槽100m3型を南大門前にぎわい広場整備予定地に設置した。		

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
応急手当(心配蘇生法など)講習会受講者数	Д	2,800	3,850	4,000	5,000
1年間に、防火・防災訓練に参加したことがある人	%	11.2	_		
市の消防・救急体制についての満足度	%	38.5	_		
避難路・避難場所を知っている市民割合	%	62.1	_		\supset
救急救命士の数	Д	15	19	20	24

	具体的な	事業・取組み
	① 自主防災組織結成促進事業	② 自主防災活動支援事業
	③ 防災体制の強化	④ MCA同報系防災行政無線整備事業
	⑤ MCA防災行政無線(移動系)整備事業	⑥ 土砂災害ハザードマップ作成事業
	⑦ 地域防災計画改訂業務	⑧ 高機能消防指令装置整備事業
	⑨ 救助工作車整備事業	⑩ 高規格救急車整備事業
	⑪ 小型ポンプ付積載車整備事業	① 消防ポンプ車整備事業
	③ 消防救急デジタル無線設備整備事業	④ 消防指令広報車整備事業
	消防本部庁舎·消防団屯所·防災備蓄倉庫建設 整備事業	⑥ 耐震性貯水槽設置事業
	① 全国瞬時警報システム整備事業	⑱ 通信指令業務共同運用整備等事業
╛		

	総合計画	関係課			
基本目標	6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり	基本施策	6-5 情報ネットワークの整備	施策の主管課	総務課

施策の内容	平成25年度末 進行状況	施策の内容	平成25年度末 進行状況
① 市民への情報発信の強化	平成25年12月にホームページリニューアルを完了した。コンテンツの拡充を継続的に実施し、アクセス数は今年度年間214,486件となった。新ホームページ更新後1月から3月までの月間平均アクセス数も月間約22,000件となり、旧ページの月間アクセス数の約15,000件を大幅に上回るようになった。	② 情報提供の安定化	・ホームページの記事の数を大幅に増やした。 ・知りたい情報にアクセスしやすいようホームページの構造を見直した。 ・各課から柔軟に記事の掲載を実施できるようCMSを導入し、また庁内ネットワークの有線化工事を完了したことにより、安定した情報提供が可能となった。

成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
市の高度情報環境の状況についての満足度	%	16.9	_		
市のホームページを見たことがある人	%	31.4	_	\supset	
市職員に対する情報セキュリティ研修回数	回	0	1	1	2

	具体的な事業・取組み
① 行政情報ネットワーク管理支援業務	② ネットワーク機器保守業務
③ イントラネット光回線移行業務	④ 重要データのバックアップ強化事業
⑤ インターネットサーバ管理業務	⑥ 香川県高度情報化推進事業
⑦ ホームページリニューアル業務	⑧ ホームページシステム管理業務

成果指標と目標値一覧表

【 資料1 】

基本目標1 参画と協働、地方分権時代のまちづくり

坐个口际!						
基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
	市ホームページ閲覧件数	件	15,000	17,800	25,000	30,000
1-1 市民主体のまち づくりの推進	市の広報・広聴活動の状況についての満足度	%	30.5			
	コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動への参加状況	%	23.7	_	7	7
	審議会などにおける女性委員の比率	%	18.9	22.6		
1-2	市の男女共同参画の状況についての 満足度	%	16.0	_		7
男女共同参画・ 人権尊重社会の 形成	人権講演会や研修会の開催回数	回	2	3	10	12
112192	人権啓発事業の実施回数	回	7	7	10	12
	市の人権尊重の状況についての満足 度	%	17.4	_		
	実質公債費比率	%	15.9	10.1		
	経常収支比率	%	89.7	91.0		
1-3 自律する自治体 経営の推進	市税徴収率	%	93.62	94.00		7
	職員数	人	287	264	265	
	人件費及び人件費に準ずる費用の割 合	%	23.6	25.5		

「成果指標と目標値」の見方

〇実績値—計画策定当初(平成21年度)における数値と進行管理対象年度(平成25年度) における数値のうち、業務上データから取得できた数値を記載しています。 ※平成21年度実績値のうち、市民満足度等のアンケート結果については、 平成21年9月実施の市民アンケートによるものです。

〇目標値—中間年度(平成27年度)と目標年度(平成32年度)において目指すべき数値です。 業務上のデータや市民アンケート(満足度評価)などから取得します。

目標値には成果指標の性質により、次の2つのパターンがあります。

①具体的な数値で示すパターン

②方向性や満足度を矢印で示すパターン

「 🥖 」数値の増加を目指す

「⇒」数値の継続を目指す

「 」数値の減少を目指す

基本目標2 福祉先進、だれにもやさしいまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
	延長保育実施保育所数	箇所	7	7	$\qquad \qquad \Longrightarrow \qquad \qquad$	$\qquad \qquad \Longrightarrow \qquad \qquad$
2-1 子育て支援の充	子ども・家庭支援センター利用者数	Д	20,000	19,315	7	
le l	子育て支援体制の状況	%	25.0	56.8		
	子育て支援に関する活動参加希望率	%	18.2	_		
	保健事業への参加者数	Т	20,094	24,203	20,500	21,000
2-2 保健・医療の充 実	各種がん検診受診率	%	32.7	32.4	40.0	50.0
	成人歯科健康診査実施数	人	147	156	200	300
	シルバー人材センター会員数	Т	1,229	1,107		
2-3 高齢者福祉の充	要介護認定率	%	13.4	16.5	$\stackrel{\Longrightarrow}{\Longrightarrow}$	\Longrightarrow
l ф	高齢者支援体制の満足度	%	28.5	_		
	健康維持への取組みをしている高齢者 割合	%	68	_		
	訓練等給付(就労支援など)の支給決定 者数	件	27	61		
	移動支援事業の支給決定者数	件	49	43		
	地域活動やスポーツ・文化活動に参加 している障がい者数	Д	26	14		
	相談支援事業所(身体・知的)の利用 件数と実利用人数	件 (人)	2,847 <u>※</u> (175) <u>※</u>	3,816 (161)		
	相談支援事業所(精神)の利用件数と実 利用人数	件 (人)	570 (25)	656 (33)		
	国民健康保険税徴収率	%	79.0	78.3	81.0	83.0
2-5 社会保障の充実	国民健康保険税口座振替率	%	45.9	48.0	48.0	50.0
	生活保護から自立した世帯数	事事	12	8	15	18
	福祉ボランティア登録者数	Д	807	707	850	900
2-6 地域福祉の充実	ボランティア登録団体数	団体	31	33	33	35
	社会福祉協議会会員世帯	世帯	9,209	9,200		

※平成23年度実績値(県が平成22年度に利用件数のカウントの仕方を見直した為)

成果指標と目標値一覧表

【 資料1 】

基本目標3 躾と教育、人を育てるまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
	児童生徒の長期欠席率(小学校)	%	0.9	0.4		
3-1	児童生徒の長期欠席率(中学校)	%	6.9	4.6		
学校教育の充実	地元産品を取り入れた給食の実施回 数	0	201	198	\Rightarrow	\Longrightarrow
	学校教育環境についての満足度	%	26.2	_		
	地区公民館利用者数	人	103,520	89,624	105,000	108,000
	市民会館利用者数	人	154,230	127,018	157,000	160,000
3-2 生涯学習社会の	図書館利用者数	人	101,089	124,926	103,000	105,000
確立	図書の市民一人当たり貸し出し冊数	₩	3.8	4.4	4.0	4.3
	生涯学習関連の講座・教室の参加者 数	人	7,949	6,451	8,500	9,000
	市の生涯学習環境についての満足度	%	20.1			
	体育施設利用者数	人	231,091	261,139	240,000	250,000
	社会体育事業参加者数	人	4,197	4,406		
3-3 生涯スポーツの 振興	初心者スポーツ教室参加者数	人	89	100	100	120
	スポーツ環境の満足度	%	23.8	_		
	週1回以上スポーツ活動をしている人 の割合	%	22.0	_		
3-4 青少年の健全育	青少年補導件数	件	58	31	P	
成	市の青少年の健全育成環境について の満足度	%	14.2			
	文化イベント参加者数	人	3,000	3,300	3,500	4,000
	文化財保護協会会員数	人	197	170	220	250
3-5 地域文化の継 承・創造	文化活動団体登録数	団体	120	111	125	130
	市の文化芸術環境についての満足度	%	19.0		7	7
	市の文化遺産の状況についての満足 度	%	32.8	_		
3-6	交流事業参加者数	人	126	583		
交流活動の推進	国内外との交流活動の状況について の満足度	%	8.3	_		
					•	•

基本目標4 活力の創出、地域が活きるまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
	集落営農組織(特定農業団体)数	組織	7	11	\bigoplus	\Longrightarrow
	認定農業者数	Д	42	48	50	55
	農業生産法人数	法人	8	11	15	20
	新規就農者数	Д	4	6	6	8
4-1 農林業の振興	新規就農者育成塾修了者数	Д	40	29	\Longrightarrow	\Longrightarrow
	市民農園開設数	箇所	3	2	6	10
	市の農業振興についての満足度	%	7.6	_		
	担い手への農地の利用集積	ha	445	323	530	600
	遊休農地の面積	ha	31	22	15	0
	商店数	店	492	_		\Longrightarrow
4-2	年間商品販売総額	万円	6,793,013	_	\Longrightarrow	\Longrightarrow
商工業の振興	事業所数(従業員4人以上)	事業所	58	54		\Longrightarrow
	製造品出荷額等総額	万円	3,684,851	3,528,930		\Longrightarrow
	主要観光施設入場者数	Д	1,236,143	1,352,155		
	観光イベント参加者数	人	106,000	112,000		
4-3 観光の振興	観光ボランティアガイド登録者数	人	0	39		
	観光交流センター利用者数	人	_	7,468		
	レンタサイクル利用台数	台	1,278	1,330		
4-4 雇用·勤労者対	中讃勤労者福祉サービスセンター会員 数(善通寺市)	Д	603	588		
策の充実	住宅建設等資金利子補給金交付件数	件	215	185	\Longrightarrow	

成果指標と目標値一覧表

【 資料1 】

基本目標5 環境重視、美しくさわやかなまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
	市のCO₂排出量	t-CO2	2,803	_	2,662	2,522
	環境関係市民団体数	団体	14	14	7	7
5-1 環境施策の総合 的推進	環境教育時間数	時間	12	12	18	24
	市の環境保全の状況についての満足度	%	29.5	_	7	7
	市のし尿処理の状況についての満足 度	%	35.8	_		7
	市民一人当たりごみ排出量	kg	200	194	185	165
5-2 年四十六の以	家庭から出されるごみのうちリサイクル されている割合	%	22.1	22.9	25.0	30.0
循環型社会の形 成	ごみ処理・リサイクルなどの状況につい ての満足度	%	60.7	_	7	7
	環境に配慮した生活をしていると答え る市民割合	%	71.7	_		
	有収率	%	88.4	85.4	90.0	95.0
	老朽管の延長	m	22,410	20,091	18,000	10,000
5-3	市の上水道の状況についての満足度	%	42.6	_		
上下水道の整備	水洗化率	%	92.8	93.2	94.0	96.0
	市の生活排水処理の状況についての 満足度	%	32.0	_		
	下水道有収率	%	83.3	84.3	85.0	87.0
	市民1人当たり公園面積	m [*]	5.76	6.15		
5-4 公園·緑地·水辺	公園利用者数	Д	53,502	134,724	70,000	100,000
の整備	市の公園・緑地の整備状況についての 満足度	%	36.2	_		
	市の親水空間の整備状況についての 満足度	%	18.6			
	花のまちづくり事業参加市民割合	%			40.0	60.0
5-5 早知の保令.敕	本市の景観の状況についての満足度	%	37.3	_		
景観の保全・整 備	保護樹木・保護樹林の指定数	本	2	0	10	30
	本市の緑化の推進状況についての満 足度	%	32.8	_	7	7

基本目標6 安心・安全、暮らしやすいまちづくり

基本施策	成果指標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
6-1 道路・交通ネット	市道改良率	%	58.2	59.1		
ワークの整備	市内の道路の整備状況についての満 足度	%	51.0	_		
6-2 住宅・市街地の 整備	市の住宅施策の状況についての満足 度	%	21.5			
	交通事故発生件数	件	393	410		
	刑法犯認知件数	件	424	355		
6-3 交通安全・防犯 体制の充実	身近な地域での防犯活動・パトロール 活動に参加している人	%	8.9	11.3		
	市の交通安全体制についての満足度	%	23.8			
	市の防犯体制についての満足度	%	22.8			
	応急手当(心配蘇生法など)講習会受 講者数	Д	2,800	3,850	4,000	5,000
	1年間に、防火・防災訓練に参加したことがある人	%	11.2			
6-4 消防・防災・救急 体制の充実	市の消防・救急体制についての満足度	%	38.5			
	避難路・避難場所を知っている市民割 合	%	62.1			
	救急救命士の数	Д	15	19	20	24
	市の高度情報環境の状況についての 満足度	%	16.9	_	7	
6-5 情報ネットワー クの整備	市のホームページを見たことがある人	%	31.4	_		
	市職員に対する情報セキュリティ研修 回数	回	0	1	1	2

第5次善通寺市総合計画の体系

	基本構想	基本計画	実施計画
将来像	基本目標	基本施策	具体的な事業・取組み
		1-1 市民主体のまちづくりの推進	1. 情報公開制度の適正運用 2. 市政に関する情報提供の充実 3. パブリックコメント・ワークショップの積極的な実施 4. コミュニティ活動の推進 5. コミュニティ施設の充実 6. 地域提案型事業
	1 参画と協働、 地方分権時代のまちづくり	1-2 男女共同参画・人権尊重社会の形成	1. 人権啓発推進事業 2. 人権・同和教育指導事業 3. 男女共同参画プラン策定事業 4. 人権問題に関する相談体制の充実
		1-3 自律する自治体経営の推進	1. 定員適正化の推進 2. アウトソーシングの推進 3. 新善通寺市機構改革計画に基づく機構改革の推進 4. 人事管理などの見直し 5. 適正課税の推進及び徴収率の向上 6. 財政計画の策定 7. 枠配分予算の導入
		2-1 子育て支援の充実	1. 児童環境づくり推進事業 2. 子ども・子育て支援事業計画策定事業 3. 地域子育て支援センター事業 4. 延長保育 5. 一時保育 6. 休日保育 7. 障害児保育 8. 病児・病後児保育 9. 発達障害児支援体制整備事業 10. 子育て支援総合コーディネート事業 11. 子育て支援医療費助成事業 12. つどいの広場事業 13. 妊産婦・新生児等訪問指導 14. 妊婦・乳幼児健康診査 15. 乳幼児健康診査 16. 保育所等整備事業
住ん		2-2 保健・医療の充実	1. 保健衛生管理事業 2. 在宅当番医制事業 3. 医師会協力事業 4. 救急医療対策事業 5. 健康生きがい中核事業 6. 健康運動教室施設整備 7. 健康診査及び各種がん検診等の受診事業 8. 予防接種 9. 食育推進事業 10. 狂犬病予防事業 11. 歯の衛生週間行事 12. ヘルススクール等健康教室実施事業 13. 地区組織育成 14. いきいきキラッと善通寺をひろめる会活動 15. 精神保健福祉対策の推進 16. 感染症対策の推進
でみたい・	2 福祉先進、 だれにもやさしいまちづくり	2-3 高齢者福祉の充実	1. 敬老行事・高齢者訪問 2. 緊急通報体制整備等事業 3. 軽度生活援助事業 4. 老人無料・生きがい入浴券交付事業 5. 市民バス運行事業 6. 高齢者の就労の場の確保および支援 7. 生きがい対応型ディサービス事業 8. 老人クラブ活動事業 9. 地域見守り体制整備事業 10. 二次予防事業訪問型介護予防事業 11. 二次予防事業通所型介護予防事業 12. 介護予防ケアマネジメント事業 13. 二次予防事業の対象者把握事業 14. 一次予防事業介護予防普及啓発事業 15. 一次予防事業地域介護予防活動支援事業 16. 二次予防事業評価事業 17. 地域包括支援センター管理事業 18. 総合相談支援事業 19. 権利擁護事業 20. 包括的・継続的ケアマネジメント 21. 介護給付等費用適正化事業 22. 家族介護教室開催事業 23. 家族介護継続支援事業 24. 成年後見制度地用支援事業 25. 福祉用具・住宅改修支援事業 26. 地域自立生活支援事業
住みつ		2-4 障がい者福祉の充実	1. 障害者介護費及び施設利用費給付事業 2. 障害者訓練費及び就労支援費給付事業 3. 障害者生活相談支援等事業 4. 障害者人工透析等医療費給付事業 5. 障害者車椅子及び装具等給付事業 6. 障害者医療費助成事業 7. 障害者福祉年金等給付事業 8. 精神障害者居場所づくり事業(ふれあいポート善通寺)
づけ		2-5 社会保障の充実	1. 要援護者就労支援事業 2. 生活扶助費等支給事業 3. 医療費適正化事業 4. 特定健康診査等事業 5. 国民年金制度の周知 6. 国民健康保険税に係る徴収率の向上
たい。		2-6 地域福祉の充実	1. 社会福祉協議会活動支援事業 2. しあわせプランぜんつうじ推進事業 3. 民生児童委員活動支援事業 4. ユニバーサルデザインのまちづくり
まち		3-1 学校教育の充実	1. スクールカウンセラー配置事業 2. 幼稚園舎耐震改修事業 3. 幼稚園整備事業 4. プール改修事業 5. 学校給食センター改築事業 6. 学校支援のための市費講師雇用事業 7. 小学生学力向上等対策事業 8. 幼児教育力総合化推進事業 9. 特別支援教育の推進 10. 子どもの安全の確保 11. 教育機器の整備 12. 学校給食の充実 13. パワーアップ事業 14. スタディアフタースクール事業 15. 西中学校校舎改築事業 16. 幼稚園茶道体験教室
善通寺		3-2 生涯学習社会の確立	1. 市民会館耐震改修整備事業 2. 地区公民館耐震改修整備事業 3. 生涯学習関連の講座・教室の開催 4. 教育団体活動支援事業 5. 図書館利用促進事業 6. 吉原公民館改築工事 7. 旧西高等学校体育館耐震化工事
	3 躾と教育、	3-3 生涯スポーツの振興	1. 体育施設耐震調査 2. トレーニング指導事業 3. 体育施設管理運営事業 4. スポーツ団体活動支援 5. スポーツ事業の開催
	人を育てるまちづくり	3-4 青少年の健全育成	1. 少年育成センター事業 2. 不登校児童生徒適応指導教室設置事業
		3-5 地域文化の継承・創造	1. 文化・芸術関連行事の実施 2. 文化・芸術団体組織の充実・支援 3. 旧善通寺偕行社の利活用 4. 埋蔵文化財の調査
		3-6 交流活動の推進	1. 交流推進体制の確立 2. 姉妹都市の児童・生徒作品展 3. 高野町・善通寺市中学生交流事業

住んでみたい・住みつづけたい。まち、善通寺	4 活力の創出、地域が活きるまちづくり	4-1 農林業の振興	1. 農用地保全管理事業 2. 農業振興地域整備計画事業 3. 農道整備事業 4. ため池管理事業 5. 水路改修事業 6. 畑地かんがい施設維持管理事業 7. 農地無断転用防止特別事業 8. 農地制度実施円滑化事業 9. 定例農業相談事業 10. 認定農業者農地集積支援事業 11. 認定農業者経営改善リース支援事業 12. 農業近代化資金利子補給事業 13. 農業経営基盤強化資金利子補給事業 14. 新規就農者育成事業 15. 機械化・効率化促進事業 16. 有害鳥獣被害対策事業 17. 森林害虫等防除事業 18. 環境保全型農業支援事業 19. 堆肥化調査研究事業 20. 市民農園開設事業 21. 農林業展開催事業 22. 農業特産品開発支援事業 23. 農林業団体支援事業 24. 米政策改革支援事業 25. 畜産業の振興事業
		4-2 商工業の振興	1. 商工振興事業 2. 中小企業経営強化事業 3. 消費者活動活性化事業 4. 中心市街地活性化事業 5. 空き店舗等活用支援事業 6. 企業誘致推進事業
		4-3 観光の振興	1. 観光宣伝事業 2. 観光交流センター運営事業 3. まちづくり交付金事業
		4-4 雇用・勤労者対策の充実	1. 雇用就業機会促進事業 2. 中讃勤労者福祉サービスセンター運営助成事業 3. 勤労者福祉資金貸付事業 4. 持家取得促進事業
	5 環境重視、 美しくさわやかなまちづくり	5-1 環境施策の総合的推進	1. 環境保全管理項目(水質・二酸化窒素・悪臭・騒音)検査事業 2. 大麻山山頂等・キャンプ場清掃事業 3. 環境審議会活動推進事業 4. 住宅用太陽光発電システム設置推進事業 5. 河川清掃事業 6. アダプション・プログラム推進事業 7. 不法投棄監視事業 8. し尿収集運搬業務 9. 環境保全啓発事業 10. 自動車騒音常時監視事業 11. 次世代自動車充電インフラ整備促進事業
		5-2 循環型社会の形成	1. 市環境推進連合会活動推進事業 2. 生ごみリサイクル事業
		5-3 上下水道の整備	1. 配水管新設事業 2. 配水管改良事業 3. 公共下水道工事に伴う配水管移設事業 4. 基幹管路耐震化事業 5. 配水池建設事業 6. 配水施設整備事業 7. 水源地開発事業 8. 水源施設整備事業 9. 浄水場施設整備事業 10. 浄水場等運転管理業務委託事業 11. 水道事業の健全経営 12. 節水意識の高揚 13. 公共下水道施設整備事業 14. 合併浄化槽普及促進事業
		5-4 公園・緑地・水辺の整備	1. 都市公園整備事業 2. 公園施設整備事業 3. 市営テニスコート周辺整備事業 4. 水辺環境整備事業 5. 「善通寺五岳の里」市民集いの丘公園管理運営事業 6. 鉢伏ふれあい公園管理運営事業 7. ボランティア公園整備事業
		5-5 景観の保全・整備	1. 道路沿線の植栽・植樹整備及び保全 2. 歴史的建造物の保全 3. 景観計画・景観条例の策定 4. 花のまちづくり事業(フラワーバンク事業・ガーデンサポーター活動事業)
	6 安心・安全、 暮らしやすいまちづくり	6-1 道路・交通ネットワークの整備	1. 南大門前にざわい広場整備事業 2. 本郷通東中学校線舗装事業 3. 一高西側線舗装事業 4. 橋梁長寿命化修繕計画策定 5. 仙遊町7号線道路改良事業 6. 橋梁長寿命化修繕事業 7. 与北谷線改良事業 8. 各線改良事業 9. 各線舗装事業 10. 市道修繕事業 11. 国道・県道の整備要請 12. 吉原町高柳地区道路改良事業 13. 総本山国病東側線改良事業 14. 竜川小学校周辺道路整備事業
		6-2 住宅・市街地の整備	1. 住環境整備事業 2. 老朽化住宅除却事業 3. 住宅改善改修事業 4. 各所排水路改修工事 5. 民間住宅耐震対策支援事業 6. 市営住宅長寿命化計画策定 7. 香川県に対する中谷川の改修要請
		6-3 交通安全・防犯体制の充実	1. 市交通対策協議会交付金交付事業 2. 市防犯協会交付金交付事業 3. 防犯灯設置推進事業 4. 交通安全施設整備事業
		6-4 消防・防災・救急体制の充実	1. 自主防災組織結成促進等事業 2. 自主防災活動支援事業 3. 防災体制の強化 4. MCA同報系防災行政無線整備事業 5. MCA防災行政無線(移動系)整備事業 6. 土砂災害ハザードマップ作成事業 7. 地域防災計画改訂業務 8. 高機能消防指令装置整備事業 9. 救助工作車整備事業 10. 高規格救急車整備事業 11. 小型ポンプ付積載車整備事業 12. 消防ボンプ車整備事業 13. 消防救急デジタル無線設備整備事業 14. 消防指令広報車整備事業 15. 消防不能方舍・消防団屯所・防災備蓄倉庫建設整備事業 16. 耐震性貯水槽設置事業 17. 全国瞬時警報システム整備事業 18. 通信指令業務共同運用整備等事業
		6-5 情報ネットワークの整備	1. 行政情報ネットワーク管理支援業務 2. ネットワーク機器保守業務 3. イントラネット光回線移行業務 4. 重要データのバックアップ強化事業 5. インターネットサーバ管理業務 6. 香川県高度情報化推進事業 7. ホームページリニューアル業務 8. ホームページシステム管理業務